

2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年2月10日

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所 東
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押見 正雄
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 克己 (TEL) 03-6823-6855
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績(2021年10月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	658	△4.1	25	△62.5	29	△56.8	3	△92.1
2021年9月期第1四半期	686	42.9	67	5.9	68	4.0	45	△12.0

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 14百万円(△67.0%) 2021年9月期第1四半期 42百万円(△24.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年9月期第1四半期	円 銭 0.66	円 銭 0.66
2021年9月期第1四半期	8.46	8.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年9月期第1四半期	百万円 5,481	百万円 3,866	% 70.0
2021年9月期	5,532	3,961	71.1

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 3,834百万円 2021年9月期 3,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.0	円 銭 20.0
2022年9月期	—	—	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年9月期期末配当の内訳 記念配当 20円00銭

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,150	8.9	317	11.4	317	△5.6	228	14.4	41.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年9月期1Q	5,578,150株	2021年9月期	5,578,150株
2022年9月期1Q	121,356株	2021年9月期	121,315株
2022年9月期1Q	5,456,820株	2021年9月期1Q	5,424,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外における新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らぐもとで、企業収益や業況感は全体として改善を続けており、基調としては持ち直しが明確化してきております。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響によりライフスタイルが大きく変容し、ビデオチャットなどオンラインコミュニケーションツールが爆発的に普及しております。また、バーチャルイベントやライブ配信も増加し、メタバースと呼ばれる仮想空間が注目を集めるなど、音声・映像を活用したオンラインサービスは新しい潮流が生まれてきております。

これらの状況下、当社グループは、リアルタイムコミュニケーションプラットフォーム「CRI TeleXus（シーアールアイ テレックス）」の開発を行うとともに、今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高658,131千円（前年同期比4.1%減）、営業利益25,345千円（前年同期比62.5%減）、経常利益29,418千円（前年同期比56.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,611千円（前年同期比92.1%減）となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE（シーアールアイウェア）」等のライセンス売上は、前期からスライドした大手顧客からの一括ライセンス契約を受注したことにより増加いたしました。海外向けは、中国でのライセンス売上の増加に加え、韓国で一括ライセンス契約を受注したことにより増加いたしました。株式会社ツーフাইブが行う音響制作は予定していた案件が下期へスライドしたことにより、株式会社アールフォース・エンターテインメントが行うゲーム開発/運営は新規案件を受注できなかったことにより、それぞれ減少いたしました。当セグメントの売上高は544,548千円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は85,859千円（前年同期比19.3%増）となりました。

② エンタープライズ事業

組込み分野は、モビリティ関連の開発案件が好調に推移したものの、ネットワーク組込みシステムの売上が第2四半期にスライドしたことにより減少いたしました。新規分野は、前年同期にあったデジタル展示会プラットフォーム「CRI DXExpo（シーアールアイ ディーエックスエキスポ）」の大口売上がなくなったことにより減少いたしました。当セグメントの売上高は113,583千円（前年同期比28.6%減）、セグメント損失は60,513千円（前年同期は4,335千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて50,634千円減少し、5,481,677千円となりました。これは主に、「現金及び預金」の減少（前連結会計年度末に比べて171,451千円の減少）及び「売掛金及び契約資産」の減少（前連結会計年度末に比べて74,695千円の減少）があった一方、「建物」の増加（前連結会計年度末に比べて94,155千円の増加）及び「工具、器具及び備品」の増加（前連結会計年度末に比べて38,086千円の増加）及び「ソフトウェア」の増加（前連結会計年度末に比べて41,958千円の増加）並びに「その他流動資産」の増加（前連結会計年度末に比べて31,856千円の増加）によるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて44,245千円増加し、1,614,828千円となりました。これは主に、「その他流動負債」の増加（前連結会計年度末に比べて136,612千円の増加）があった一方、「未払法人税等」の減少（前連結会計年度末に比べて63,786千円の減少）及び「役員退職慰労引当金」の減少（前連結会計年度末に比べて14,251千円の減少）並びに「賞与引当金」の減少（前連結会計年度末に比べて11,220千円の減少）によるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて94,880千円減少し、3,866,849千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上及び配当金の支払いによる「利益剰余

金」の減少（前連結会計年度末に比べて105,524千円の減少）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の連結業績予想は、2021年11月11日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,891,477	3,720,025
売掛金及び契約資産	518,960	444,264
商品	4,040	3,561
仕掛品	8,908	21,027
その他	105,068	136,925
貸倒引当金	△492	△52
流動資産合計	4,527,963	4,325,751
固定資産		
有形固定資産		
建物	49,217	125,453
減価償却累計額	△24,040	△6,121
建物(純額)	25,176	119,332
工具、器具及び備品	82,033	105,789
減価償却累計額	△62,786	△48,455
工具、器具及び備品(純額)	19,247	57,334
建設仮勘定	40,839	11,046
有形固定資産合計	85,263	187,712
無形固定資産		
ソフトウェア	261,398	303,356
のれん	20,507	18,845
その他	971	79
無形固定資産合計	282,877	322,281
投資その他の資産		
投資有価証券	365,688	371,629
繰延税金資産	60,696	57,464
その他	209,822	216,838
投資その他の資産合計	636,207	645,932
固定資産合計	1,004,348	1,155,925
資産合計	5,532,311	5,481,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,748	52,040
未払法人税等	63,786	—
賞与引当金	11,220	—
その他	249,523	386,135
流動負債合計	384,279	438,175
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
退職給付に係る負債	120,905	125,506
役員退職慰労引当金	61,883	47,631
繰延税金負債	3,513	3,513
固定負債合計	1,186,302	1,176,652
負債合計	1,570,582	1,614,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	784,904	784,904
資本剰余金	825,290	825,290
利益剰余金	2,482,532	2,377,007
自己株式	△167,943	△168,005
株主資本合計	3,924,783	3,819,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,100	14,240
為替換算調整勘定	△773	1,460
その他の包括利益累計額合計	7,326	15,700
新株予約権	11,052	11,052
非支配株主持分	18,566	20,898
純資産合計	3,961,729	3,866,849
負債純資産合計	5,532,311	5,481,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上高	686,022	658,131
売上原価	325,237	313,150
売上総利益	360,784	344,981
販売費及び一般管理費	293,176	319,635
営業利益	67,608	25,345
営業外収益		
受取利息	516	393
受取配当金	19	19
補助金収入	504	—
為替差益	—	7,805
その他	76	1,971
営業外収益合計	1,116	10,190
営業外費用		
事務所移転費用	—	5,935
為替差損	516	—
その他	55	182
営業外費用合計	572	6,117
経常利益	68,152	29,418
特別損失		
固定資産除却損	—	20,239
特別損失合計	—	20,239
税金等調整前四半期純利益	68,152	9,179
法人税、住民税及び事業税	15,578	2,181
法人税等調整額	4,739	3,232
法人税等合計	20,318	5,413
四半期純利益	47,834	3,765
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,942	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,891	3,611

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	47,834	3,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,591	6,140
為替換算調整勘定	△498	4,412
その他の包括利益合計	△5,090	10,552
四半期包括利益	42,744	14,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,664	11,986
非支配株主に係る四半期包括利益	2,079	2,331

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年11月11日 取締役会	普通株式	109,136	20	2021年9月30日	2021年12月2日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額20円は、設立20周年記念配当であります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。「以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高及び当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	526,843	159,178	686,022	686,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	526,843	159,178	686,022	686,022
セグメント利益または損失(△)	71,944	△4,335	67,608	67,608

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	544,548	113,583	658,131	658,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	544,548	113,583	658,131	658,131
セグメント利益または損失(△)	85,859	△60,513	25,345	25,345

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更による当第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益の金額に対する影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	8円46銭	0円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	45,891	3,611
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	45,891	3,611
普通株式の期中平均株式数(株)	5,424,524	5,456,820
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	8円40銭	0円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	37,110	1,124
(うち転換社債(株))	—	—
(うち新株予約権(株))	37,110	1,124
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。